

AIFA レフェリーアカデミー3B カテゴリー研修会

8月26日（水）に、豊田スタジアムで観戦研修会を実施しました。

試合前には実際のピッチをサイドを周り、トップカテゴリーの試合環境を間近で見ることができました。試合観戦では1級審判員の方々のレフェリングやそれぞれの任務について、肌で感じることができました。

今後も研修会等を通じて、審判員のスキルアップに繋がるように努めていきます。



参加者の感想

今回の観戦研修では、普段自分が審判をするときには気づかなかった細かい動きや、審判団の連携について学ぶことができました。特に、インカムがない中でも主審とジェスチャーを使ってコミュニケーションを取っていて、しっかりと審判団が一つのチームになっていることが伝わってきました。主審だけでなく、副審や第4審判もそれぞれの役割を果たしながら、お互いに助け合って試合を運営していることが分かりまし



た。また、状況を素早く判断して行動することや、相手に分かりやすく伝えることの大切さも学びました。今回の研修で実際の審判員の動きを間近で見ることができ、とても貴重な経験になりました。これからの審判活動でも、今回学んだことを意識して取り組んでいきたいです。〈米森俊斗 審判員〉

今回の天皇杯2回戦の観戦研修では、日本トップレベルの審判員の判定や動き、チームワークを間近で学ぶことができ、大変有意義な機会となりました。主審、副審、第4の審判員がそれぞれの役割を的確に果たしながら連携し、試合を円滑に運営している姿が印象的でした。特に、副審のポジショニングや目線の使い方、第4の審判員によるベンチコントロールや選手交代時の対応など、普段の活動ですぐに活かせる多くの学びを得ることができました。主審のシグナルや笛の強弱も明確で分かりやすいなと感じました。今回学んだ内容を振り返りながら実践し、より高いレベルのレフェリーをできるように今後の活動に取り組んでいきたいです。〈服部駿汰 審判員〉

